町公民館だより

編集　日野町公民館　〒689-5131　日野町黒坂1243番地１
電話：７４－０２１２　ＦＡＸ：７４－０１０５
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

豊富な経験の裏話に興味津々

▼第1回おしどり学園開催

豊富な体験談が次々に飛び出す

５月20日、おしどり学園を開きました。

一般教養講座では、「洋食のマナー・ホテルの裏話」と題し、元ホテルマンで現在は大山公民館長の谷尾良さんが講演を行いました。

谷尾さんはＪＲを退職後、帝国ホテルやホテルグランヴィア京都などに勤務。当時の裏話や洋食のマナーについて紹介しました。

「ワインを注がれるときはグラスを手に持ってはいけない。ワインはグラスをテーブルに置いたままで」「フォークやナイフの皿への置き方で食事の休止や終了を知らせる」。さまざまなマナーを紹介しながら、谷尾さんは「最近は和洋折衷が進み、現在マナーそのものが死語になってきているのが現状。適度にマナーを気にせず安心して自分流で食事を楽しんでください」と話しました。

また、ホテルを裏方として支えてきた中での苦労話や苦情処理の話、米子全日空ホテル開業にかかわってきた話なども披露され、学園生らは、谷尾さんの経験豊富で貴重な話に聴き入っていました。

グループ専門講座では、7つに分かれて1回目の講座が始まりました。各講座名と講師は次の皆さんです。▼生け花（講師：生田清子さん）▼料理（講師：恩田記子さん）▼手芸（講師：中山キサ子さん）▼写真（講師：写友会ひの・松本利秋さん）▼歴史（講師：杉本準一さん）▼健康（講師：日野病院理学療法士 田中武志さん）▼音読（講師：町図書館職員）

特に、健康講座には、20人を超える申し込みがあり、場所を老人福祉センターに変更するほどの盛況ぶりでした。

【洋食のマナー・なるほど話】
～バイキングの食べ方～

①大きな取り皿は使わないで、小さな皿に少しずつ取る。軽い料理から食べ始め、肉類など重いものは後に回す。

②なるべく早い時間に行く。早くいけば新鮮な料理が食べられる。

青少年の健全育成をめざして

▶日野町青少年育成会

引継を終え固い握手を交わす、金田さん（左）と長尾新会長

５月13日、町青少年育成会の総会を町公民館で開きました。総会では、平成27年度事業報告および決算、平成28年度活動方針案および収支予算案、補欠役員の選任の議案について提案・承認されました。

今年度の活動方針として、「１．健全な家庭づくり運動の推進」「２．青少年育成県民運動の推進への参加」「３．非行防止と環境浄化活動の推進」「４．青少年の自立と社会参加活動の推進」「５．日野町教育振興基本計画第Ⅱ期の推進、支援」に決定しました。

また、役員の異動で、町青少年育成会の会長が金田雅夫さんから長尾克正さんに替わりました。

里山の恵みを満喫

▼春の山菜を楽しむ会開催

手際よくハンバーグをこねる

春の野山は生気あふれる新緑に満ちています。この時期は、食べられる山野草も多く、ゼンマイやワラビ、コシアブラ、タラ、ウド、タケノコ、葉わさび、サンショウ、ヨモギなど、皆さんもよくご存じだと思います。健康増進に野山に出かけ、途中で何か山菜を手に入れ、家庭で調理しておいしく食べることができれば一石二鳥です。

町公民館では、山菜料理に親しんでもらおうと、今年も「春の山菜を楽しむ会」を5月19日に開催、初参加の人もあり盛会となりました。今回は、身近に手に入るワラビ、タケノコ、セリ、ヨモギ、サンショウの葉を使った料理の献立を町管理栄養士に考えてもらいました。

今回の献立は「アサリとワラビの炊きおこわ」「タケノコ入りハンバーグ」「豚肉と春キャベツのみそ汁」「セリのナムル」「ヨモギの蒸しパン」の5品。参加者のほとんどが初めて挑戦する料理ばかりでしたが、町食生活改善推進員の皆さんの指導を受けながらうまくできあがりました。

みんなでできあがった料理を囲み、山菜の味や香りを十分に楽しみながら山菜談義で盛り上がりました。

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

6月27日（月）から7月3日（日）まで、全国一斉に「子どもの人権110番」強化週間が展開され、受付時間を延長するとともに、土曜日・日曜日も相談を受け付けます。

▼期間および受付時間　6月27日（月）～7月3日（日）まで
平日＝午前8時30分～午後7時　／　土・日曜日＝午前10時～午後5時

▼実施方法　①電話相談（全国共通フリーダイヤル）電話0120-007-110　②相談担当者　人権擁護委員および法務局職員

▼問合せ先　鳥取地方法務局人権擁護課（電話0857-22-2289）

ふるさとのことば
～日野弁なんずかんず～　第35回

「のふうぞ」

「そげな**のふうぞぉ**げな格好すうじゃぁない」。日野の人ならば言われたことがある人も多いのでは。

「だらしない」「ふしだらな」「横着」「不作法」なことを「**のふうぞ**」「**のふうぞぉ**」と表します。

語源ははっきりしませんが、「野風俗」「野放図」が変化したものという説があります。

その昔、『野風増（のふうぞ）』という曲がヒットしました。20歳を迎える息子に「男は生意気ぐらいがちょうどいい」と語る父親の歌ですが、若干美化された「のふうぞ」像が面白いですね。

日野弁ピックアップ「の」

のぉのぉさん…（幼児ことば）仏様／神様。
のこくそ…のこくず。おがくず。
※たたら製鉄で発生した鉄滓を「かなくそ」とも言いますね。
のっかぁと…のんびりと。ゆったりと。安心して。
ののこ…綿入れ。袷（あわせ）。
ののもん…タヌキ、イノシシ等の野生動物。害獣。
のぼせもん…よく逆上する人。夢中になる人。
のぼり…新見・岡山方面。**のりまつ**…お調子乗り。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

昔の写真・資料収集にご協力を

町では、今後刊行予定の「日野町史」の編さんにあたり、まちのあゆみ・歴史を物語る写真や資料などを収集しています。

次のような資料をお持ちの方はご連絡ください。

真住小学校（昭和49年）

①日野町および旧町村に関する写真（明治から昭和の建物や地域の風景、祭り、行事など）

②日野町および旧町村に関する資料（行政の刊行物、書籍、商店チラシ、映像記録など）

③その他歴史的資料（古文書など）

※これらの資料をお持ちの方は、下記連絡先までお知らせください。記録を取ったうえで、資料価値の高いものについては、町史編さんに使用させていただく予定です。

■連絡先　日野町史編さん室（電話72－0341）